

科目名	地理学概論			担当教員	森田 匡俊	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SGG101
期待される学修成果	基礎教養 教科教育					
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	この授業では、地理学の基礎的な用語・概念・知識についての講義を通じて地理学的な視点・考え方を習得することを目標とする。地理学は人文・社会現象と自然環境の双方を扱う学問である。人文地理学（都市地理学、経済地理学など）と自然地理学双方の基礎的な用語・概念・知識の理解を通じて、現代社会における諸問題を地理的な視点で捉え、自分なりの考えを持つことができるようにする。					
授業の概要	まずは、地理学の視点や考え方の基礎について講義を行う。次いで、現代の都市・経済現象を地理学の観点からどのように捉えることができるのか、実例を基に講義していく。 【デジタル技術利用 該当番号：①】					

授業計画	
第1回	地理学とはどんな学問か？
第2回	地理学史（歴史と分野）
第3回	地理的視点とは
第4回	地理学の道具・地図Ⅰ（歴史）
第5回	地理学の道具・地図Ⅱ（ルールとマナー）
第6回	地図は嘘つきである（階級区分の問題と集計単位地区問題）
第7回	距離の測り方（場所と場所との関係）
第8回	結びつきの測り方（人と人との関係）
第9回	頭の中の距離と地図（場所と人との関係）
第10回	認知地図の発達と方向音痴
第11回	都市・地域・場所のイメージ 1
第12回	都市・地域・場所のイメージ 2
第13回	少子化と日本のニュータウン
第14回	ジェンダー化された空間
第15回	学修到達度の確認試験および解説と授業全体の総括

事前学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。
事後学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	レポートや小課題の結果について、講義内で紹介しコメントする。個別の質問には随時コメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	30%	各回の内容理解度に応じて評価する。
上記以外の試験・平常点評価	70%	講義全体を通じての内容理解度、および地理的視点からのアプローチスキルの習熟度に応じて評価する。
定期試験	0%	

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.
参考資料	適宜紹介する.			